

日本教科教育学会第45回全国大会 日程

日 時 2019年10月13日(日)・14日(月・祝)

日 程

◆ 1日目 10月13日(日)

9:00～	9:30～10:40	10:50～12:00	12:00～13:20	13:20～14:20	14:30～17:00	17:20～19:20
受付	一般研究 発表1	一般研究 発表2	昼食	総会	シンポジウム 1	懇親会
			理事会 (12:10～13:10)			

◆ 2日目 10月14日(月・祝)

9:00～	9:30～10:40	10:50～12:00	12:00～13:00	13:00～15:00
受付	一般研究 発表3	一般研究 発表4	昼食	シンポジウム 2
		ポスター 発表(40分)		

研究発表会場 ならびに シンポジウム・学会行事会場

◆ 1日目 10月13日(日)

	一般研究発表1/2 (第一共通棟1階・2階) *教室名の下に時間毎の研究発表番号を示す									
	111教室	112教室	113教室	114教室	115教室	210教室	211教室	212教室	213教室	214教室
09:30-09:50	1B1-1	1B2-1	1B3-1	1B4-1	1B5-1	1A1-1	1C1-1	1C2-1	1D1-1	1E1-1
09:55-10:15	1B1-2	1B2-2	1B3-2	1B4-2	1B5-2	1A1-2	1C1-2	1C2-2	1D1-2	1E1-2
10:20-10:40	1B1-3	1B2-3	1B3-3	1B4-3	1B5-3		1C1-3	1C2-3	1D1-3	1E1-3
10:50-11:10	1B6-1	1B7-1	1B8-1	1B9-1	1BX-1	1A2-1	1C3-1	1C4-1	1D2-1	1E2-1
11:15-11:35	1B6-2	1B7-2	1B8-2	1B9-2	1BX-2	1A2-2	1C3-2	1C4-2	1D2-2	1E2-2
11:40-12:00	1B6-3	1B7-3	1B8-3	1B9-3	1BX-3		1C3-3	1C4-3	1D2-3	1E2-3
12:00-13:20	昼食 / 理事会 (第二共通棟1階 412 教室)									
13:20-14:20	総 会 (第二共通棟3階 431 教室)									
14:30-17:00	シンポジウム1 (第二共通棟3階 431 教室)									
17:20-19:20	懇親会 (第二福利施設)									

◆ 2日目 10月14日(月・祝)

	一般研究発表3/4 (第一共通棟1階・2階)									ポスター発表 (第一共通棟2階)
	111教室	112教室	113教室	114教室	210教室	211教室	212教室	213教室	204・205・208・209 教室	
09:30-09:50	2B1-1	2B2-1	2B3-1	2D1-1	2C1-1	2C2-1	2E1-1	2E2-1		
09:55-10:15	2B1-2	2B2-2	2B3-2	2D1-2	2C1-2	2C2-2	2E1-2	2E2-2		
10:20-10:40	2B1-3	2B2-3	2B3-3		2C1-3	2C2-3	2E1-3	2E2-3		
10:50-11:10	2B4-1	2B5-1	2B6-1	2B7-1	2C3-1	2C4-1	2E3-1		2PA-1, 2PB-1~7, 2PC-1~5, 2PE-1~4	
11:15-11:35	2B4-2	2B5-2	2B6-2	2B7-2	2C3-2	2C4-2	2E3-2			
11:40-12:00	2B4-3	2B5-3	2B6-3			2C4-3	2E3-3			
12:00-13:20	昼 食									
13:20-14:20	シンポジウム2 (第一共通棟2階 201 教室)									

*研究発表番号内のアルファベットA～Eが表す研究内容のカテゴリーは、次の通りである。

[A 目的・目標], [B 学習方法・指導方法], [C 学習内容・教材], [D 評価], [E その他]

【シンポジウム 1】

10月13日（日） 14：30～17：00

会場： 第二共通棟3階 431教室

〈テーマ〉

学校における教科教育研究—カリキュラムデザインと授業研究—

〈趣旨〉

教科教育の研究は、大学や研究所だけではなく、都道府県や市町村の教育センター、また、各学校で行われている。教科教育の教育事象はまず、学校において作り出され、生起しているからである。

では、各学校ではどのような教科教育の研究が行われ、学校、また各先生の教育実践にどのような効果的なものを与えているのだろうか。とくに、教科を超える、あるいは相互に関連する学校のカリキュラムづくり、カリキュラムデザインとして行われたり、また、教科の授業の研究として進められたりしている。これらは学校全体の教育や教師の資質の向上に資するとされている。

このような一連の問いやその答えを巡る、教科教育の研究を学校教育、あるいは学校の教師教育に活用している学校に登壇していただき、それぞれの学校における教科教育の研究を示すとともに、なぜそのような研究を進めているのかを説明し、指導者からもその意義づけを明らかにしていただくことにした。

〈コーディネーター・司会者〉

池野範男（日本体育大学）

〈シンポジスト〉

葉倉朋子（かわさき市民アカデミー事務局長・川崎市立東菅小学校前校長）

1S1-1 思考力を育成する授業研究と学校経営

指導講師 角屋重樹（日本体育大学）

岩田一郎（安城市立東山中学校、前安城市立安祥中学校）

1S1-2 みんなで考え、みんなで話し合い、みんながわかる

—多様性を生かした「学びのストーリー」の展開—

指導講師 磯部征尊（愛知教育大学）

浜野健太（愛知教育大学附属名古屋小学校）

1S1-3 現場と大学との、よりよい共同研究のための教科研究

～深い学びにつながる授業デザイン～

指導講師 土屋武志（愛知教育大学）

【シンポジウム2】

10月14日（月・祝） 13:00～15:00

会場： 第一共通棟2階 201教室

〈テーマ〉

教職大学院における新しい教科教育学研究とは？

〈趣旨〉

平成29年8月29日付けの国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告書「教員需要の減少期における教員養成・研修機能の強化に向けて：国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告書」において、教員養成機能強化の一環として、教職大学院の教育内容の充実、特に「実践的な教科領域の教育の導入」が報告された。

これに呼応するかのようにして、幾つかの教員養成系大学・学部の大学院・修士課程では、既設の教科教育に関わる課程・スタッフが一斉に教職大学院に移行する動きを見せている。教科教育学研究のスタッフが教職大学院に移行して教科教育学研究に基づく研究指導をした場合、学生の研究テーマの選択や研究方法などは、既設大学院と大きく変わる可能性がある。それと同時に、研究者側の研究スタイルも何らかの変更や調整を迫られる可能性はあろう。

大会校主催の本シンポジウムでは、そうした素朴な疑問を背景に、全国的にも特徴的な取組をしている教職大学院のスタッフをお招きし、そこでの教育・研究の取組をご紹介頂くと共に、教職大学院における新しい教科教育学研究の方向性・在り方を探ることができればと思う。

〈コーディネーター・司会者〉

佐々木徹郎（愛知教育大学）

〈シンポジスト〉

宮本浩治（岡山大学大学院教育学研究科）

2S2-1 教科教育学研究と、教師教育実践と、そして教師教育研究

岩崎 浩（上越教育大学）

2S2-2 上越教育大学教職大学院における数学教育の研究の特徴

松井孝彦（愛知教育大学）

2S2-3 ねらいを起点とした教育・研究

【一般研究発表】

10月13日（日） 一般研究発表1

111教室（1B1） 9:30～10:40 座長：加納誠司（愛知教育大学）

- 1B1-1 総合的な学習の時間における思考スキル活用に関する効果の検討
－課題解決学習における思考の働きが知識に与える影響－
○田村響太郎（静岡大学大学院）、石上靖芳（静岡大学大学院教育学研究科）
- 1B1-2 「サービス・ラーニング型」総合的な学習の時間に関する一考察
加藤 智（愛知淑徳大学）
- 1B1-3 実技系教科と小学校理科との関連に関する研究 ー教科横断型授業のデザインー
五十嵐敏文（日本女子大学）

112教室（1B2） 9:30～10:40 座長：深澤清治（広島大学）

- 1B2-1 自律した英語学習者の育成を目指す課題設計 ー大学選択科目での実践ー
茅野潤一郎（新潟県立大学）
- 1B2-2 語順整序問題での誤りの傾向と分析 ー英語が苦手な大学生英語学習者の事例を基にー
○築道和明（広島大学大学院教育学研究科）、兼重 昇（大阪樟蔭女子大学）、
辰己明子（広島修道大学）、梅本璃子（広島大学大学院）
- 1B2-3 タスクベース指導が高校生の英語発話に与える影響
ー徐々に複雑性が増すように配列したタスクを用いてー
柳本萌子（広島大学大学院）

113教室（1B3） 9:30～10:40 座長：三根和浪（広島大学）

- 1B3-1 思考スキルを超えた批判的に考察できる思考力の探求
ー小学校社会科歴史学習を事例としてー
橋本隆生（日本体育大学大学院、八王子市立第十小学校）
- 1B3-2 家庭科の実習を通して思考力を育む可能性の検討
土屋善和（琉球大学教育学部）
- 1B3-3 批判的思考のきっかけとしての「ぐち」
○道田泰司（琉球大学教職大学院）、酒井織恵（琉球大学教育学部附属中学校）

114教室 (1B4) 9:30~10:40

座長：松原道男（金沢大学）

1B4-1 IMPROVING STUDENTS' CONCEPTUAL UNDERSTANDING ABOUT LIGHT AND OPTICAL INSTRUMENTS USING COMPUTER SIMULATIONS

○Arif Widiyatmoko (Graduate School for IDEC, Hiroshima University),
Kinya Shimizu (Hiroshima University)

1B4-2 Strengthening High School Student's Scientific Reasoning Skills Through STEM Education

○Uswatun Hasanah (Graduate School for IDEC, Hiroshima University),
Kinya Shimizu (Hiroshima University)

1B4-3 Factors Affecting Cambodian Upper Secondary School Students' Choice of Science Track

○Kao Sovansoph (Graduate School for IDEC, Hiroshima University),
Kinya Shimizu (Hiroshima University)

115教室 (1B5) 9:30~10:40

座長：清水美憲（筑波大学）

1B5-1 小学校算数科における「数学する」ための話し合い —スパイダー討論の手法を通して—

○石野 亮(兵庫教育大学大学院), 永田智子(兵庫教育大学大学院学校教育研究科)

1B5-2 小学校中学年におけるプログラミング教育についての研究

—Let's programing(入門編)の実践を通して—

鎌田潤一（下松市立下松小学校）

1B5-3 数学学習における問いを立てるための指導方法に関する研究

河村真由美（広島大学大学院）

210教室 (1A1) 9:30~10:40

座長：草原和博（広島大学）

1A1-1 社会科授業研究を中核とした校内研究体制の構築

○山下大喜（名古屋大学大学院），白井克尚（愛知東邦大学），
土屋武志（愛知教育大学）

1A1-2 歴史教育における探究学習の研究

—歴史総合単元「権利について問いをつくらう」の場合—

宮本英征（玉川大学）

211教室 (1C1) 9:30~10:40

座長：川崎弘作（岡山大学）

1C1-1 高等学校理科分野コーパスの可能性(2) —家庭科における「環境」に注目して—

○小林久美(東京未来大学), 田中 元(秀明大学), 鈴木哲也(東京未来大学)

1C1-2 高等学校理科分野コーパスの可能性(3) —SDGsを尺度にした「環境」の取り扱い—

○田中 元（秀明大学），小林久美・鈴木哲也（東京未来大学）

1C1-3 『史記』の〈歴史〉語りと教材としての可能性 —高校2年生「鴻門之会」の学習から—
井上 泰（広島大学附属福山中・高等学校）

212教室（1C2） 9:30~10:40 座長：松浦拓也（広島大学）

1C2-1 理科教育に有用なマイクロスケール実験
—ペットボトルのキャップを使用した酢酸とアンモニアの電離平衡の移動—
中川徹夫（神戸女学院大学）

1C2-2 宇宙パズルを用いた学習の取り組みⅡ —太陽系フォーを用いて—
松本榮次（神戸大学大学院）

1C2-3 多様な家庭環境に配慮した生活科の「成長単元」の実践的研究
菅沼敬介（福岡教育大学）

213教室（1D1） 9:30~10:40 座長：雲財 寛（日本体育大学）

1D1-1 中学校理科における学習評価の在り方に関する研究
—生徒の学習改善につながる自己評価に着目して—
○西村 岬（広島大学大学院）、木下博義（広島大学大学院教育学研究科）

1D1-2 中学校理科における研究倫理教育実践のための基礎的研究
—生徒の実態を把握する質問紙、及び評価問題の考案を通して—
○桂木浩文（広島市立安佐南中学校、広島大学大学院）、木下博義（広島大学大学院教育学研究科）

1D1-3 思考力・判断力・表現力を評価する歴史テスト問題の方向性
—大学入学共通テスト試行調査問題の分析を通して—
倉知三裕（愛知教育大学大学院）

214教室（1E1） 9:30~10:40 座長：飯田慎司（福岡教育大学）

1E1-1 高校生は条件付き確率を利用してモンティ・ホール問題を解いているのか？

石橋一昂（広島大学大学院・日本学術振興会特別研究員）

1E1-2 数学の授業における考察対象の存在論的様相に関する研究方法論

○上ヶ谷友佑（広島大学附属福山中・高等学校）、和田信哉（鹿児島大学）、
中川裕之（大分大学）、影山和也（広島大学大学院教育学研究科）、山口武志
（鹿児島大学）

1E1-3 プログラミング環境下での生徒による認識様式の優先度

○影山和也（広島大学大学院教育学研究科）、上ヶ谷友佑（広島大学附属福山中・高等学校）、青谷章弘（広島大学附属東雲中学校）

10月13日(日) 一般研究発表2

111教室 (1B6) 10:50~12:00 座長:加藤 智 (愛知淑徳大学)

- 1B6-1 小学校社会科歴史分野における時代の構造的理解を促進する単元開発と効果の検証
ーパフォーマンス課題の設定とその評価の質的分析を通してー
○山路崇仁(御殿場市立富士岡小学校), 石上靖芳(静岡大学大学院教育学研究科)
- 1B6-2 理科における資質・能力の育成を意図した実践研究のメタ分析
ー東日本地域の授業実践を対象としてー
○中村大輝・田村智哉・小林 誠・永田さくら・大野俊一・大森一磨・
堀田晃毅(広島大学大学院), 松浦拓也(広島大学大学院教育学研究科)
- 1B6-3 大学生は疑問の検証可能性をどのように判断するか
○小林 誠(広島大学大学院), 松浦拓也(広島大学大学院教育学研究科)

112教室 (1B7) 10:50~12:00 座長:築道 和明 (広島大学)

- 1B7-1 協同的な英語リーディング活動が英文理解における「深い学び」に与える効果
○サルバシヨ有紀(名古屋女子大学中学校高等学校),
大場浩正(上越教育大学大学院学校教育研究科)
- 1B7-2 学修支援空間としてのCafeについて
ータイプ変化に影響を与える学習者要因に焦点をあててー
吉川正美(English Learning Support)
- 1B7-3 児童のL2WTCを高めるための小学校外国語科の授業構成と実践
ーL2 Confidenceと国際的志向性に着目した授業カリキュラムの提案ー
永田眞子(愛知教育大学大学院)

113教室 (1B8) 10:50~12:00 座長:小野瀬 倫也 (国士舘大学)

- 1B8-1 理科の実験計画場面における科学的に探究する力に関する研究
ー思考過程を逆転させた際の中学生の実態ー
○眞鍋瑞歩(広島大学大学院), 木下博義(広島大学大学院教育学研究科)
- 1B8-2 中学校理科における資質・能力の育成に関する研究
ー国際バカロレアの視点を取り入れてー
○青木理恵(広島大学大学院), 木下博義(広島大学大学院教育学研究科)
- 1B8-3 中学校理科におけるスキルの活用に関する研究
ー国際バカロレア中等教育プログラムに着目してー
○西村 洸(広島大学大学院), 木下博義(広島大学大学院教育学研究科)

114教室 (1B9) 10:50~12:00 座長：平野俊英 (愛知教育大学)

- 1B9-1 実験方法考案場面における批判的思考の「目標志向的思考」の育成
ー結果の予想と条件制御に着目してー
○片上悠也 (岡山大学大学院), 川崎弘作 (岡山大学大学院教育学研究科)
- 1B9-2 児童が主体的に批判的思考力を構築する指導法の工夫Ⅰ
ーレーダーチャート付きワークシートを用いてー
○中山貴司 (広島大学附属東雲小学校, 広島大学大学院), 桃原研斗 (広島大学大学院), 木下博義 (広島大学大学院教育学研究科)
- 1B9-3 児童が主体的に批判的思考力を構築する指導法の工夫Ⅱ
ーレーダーチャート付きワークシートを用いてー
○桃原研斗 (広島大学大学院), 中山貴司 (広島大学附属東雲小学校, 広島大学大学院), 木下博義 (広島大学大学院教育学研究科)

115教室 (1BX) 10:50~12:00 座長：高井吾朗 (愛知教育大学)

- 1BX-1 場合分けして考えを進める力を伸ばす指導法を構想するための基礎研究
ー集合の考えを視点とする教材開発を通してー
○天野秀樹・青谷章弘 (広島大学附属東雲中学校)
- 1BX-2 算数科の特設型問題解決指導による資質・能力の育成に関する研究
ーオープンエンドの問題の開発を中心にー
飯田慎司 (福岡教育大学)
- 1BX-3 AIとの共存における数学を介した「自己のフレーム」についての考察
○紙本裕一・○高木雄斗・○渡部萌香 (東京未来大学)

210教室 (1A2) 10:50~12:00 座長：西野雄一郎 (愛知教育大学)

- 1A2-1 教科教育を中心としたESDの授業デザイン
ーメタ認知による認知システムと行為システムの往還ー
石川敬祐 (愛知教育大学大学院)
- 1A2-2 感性教育についての総合的研究Ⅱ ー授業構想に向けて
○北川祥子 (愛知県武豊町立緑丘小学校), 川上昭吾 (前 愛知教育大学)

211教室 (1C3) 10:50~12:00 座長：小山正孝 (広島大学)

- 1C3-1 入門期の算数科における具体物を利用した子どもの数的活動
ー子どもの数的活動の中に見られる遊びに焦点をあててー
石井康博 (関西大学)

1C3-2 小学校段階における図形の論理的思考 ―思考水準と推論―

大林正法（兵庫教育大学大学院）

1C3-3 高校生の統計グラフの理解状況についての一考察

坂野翔大（愛知教育大学大学院）

2 1 2 教室（1 C 4） 10:50～12:00

座長：茅野潤一郎（新潟県立大学）

1C4-1 小学校各教科に資する国語科学習語彙の研究 ―中学年理科・社会を中心に―

河内昭浩（群馬大学）

1C4-2 科学に対する認識の形成に向けた説明的文章教材の検討

―理科と国語科の教科等横断的視点から―

○西村栄哉・高橋龍之介（広島大学大学院），間瀬茂夫・三好美織（広島大学）

1C4-3 Literature Review on Teachers' Understanding of Science Process Skills in Science Education

○Mercy Mushani (Graduate School for IDEC, Hiroshima University),
Kinya Shimizu (Hiroshima University)

2 1 3 教室（1 D 2） 10:50～12:00

座長：遠藤優介（筑波大学）

1D2-1 学力調査と学習状況調査の関連を分析するシステムの開発

松原道男（金沢大学・学校教育系）

1D2-2 高次思考能力としてのメタ認知的知識に関する一考察

―理系大学生を対象とした自由記述分析を中心として―

松浦拓也（広島大学大学院教育学研究科）

1D2-3 害虫駆除問題に対する判断及び判断理由の変化を把握するシーソーゲームの原理

飯田真也（聖隷クリストファー大学）

2 1 4 教室（1 E 2） 10:50～12:00

座長：菅沼敬介（福岡教育大学）

1E2-1 理科カリキュラムにおける横断的な概念としての「動的平衡」

○森 健一郎（北海道教育大学釧路校），角屋重樹・稲田結美・雲財 寛
（日本体育大学）

1E2-2 社会科に関わる民間教育団体はいかに生活科の成立に向き合ったのか

―団体刊行物から捉えるもう一つの生活科成立史―

○岡田了祐（お茶の水女子大学），○白井克尚（愛知東邦大学），
○村井大介（静岡大学），○渡邊 巧（広島大学）

1E2-3 生活科から理科へと何をどう接続するのか

―乳幼児期から低学年児童期の科学教育から見た接続の視点―

小谷卓也（大阪大谷大学）

111教室 (2B1) 9:30~10:40 座長: 金沢 緑 (関西福祉大学)

- 2B1-1 獲得した知識を俯瞰する行為が学習者の科学概念構築に与える影響について
○中込泰規(横浜国立大学大学院・逗子市立沼間中学校),
加藤圭司(横浜国立大学)
- 2B1-2 児童の理科におけるメタ認知的知識 —自由記述に基づく質問紙調査の検討—
○三井寿哉(東京学芸大学附属小金井小学校, 広島大学大学院),
松浦拓也(広島大学大学院教育学研究科)
- 2B1-3 理科の分析・解釈における思考過程に関する基礎的研究
—大学生を対象とした面接調査を中心にして—
○大野俊一(広島大学大学院), 松浦拓也(広島大学大学院教育学研究科)

112教室 (2B2) 9:30~10:40 座長: 内海志典 (岐阜大学)

- 2B2-1 中学校理科化学分野における科学的概念の理解に関する実践的研究
—ラーニング・プログレッションズの考え方に着目して—
○宇谷亮介(広島大学大学院), 木下博義(広島大学大学院教育学研究科)
- 2B2-2 理科における情報活用能力の育成に関する実践的研究
—データ解釈に至る過程に着目して—
○瀬谷敦之(広島大学大学院), 木下博義(広島大学大学院教育学研究科)
- 2B2-3 小学校理科における合意形成能力に関する基礎的研究
—理論的検討と評価問題の作成—
○古石卓也(広島市立本川小学校), 木下博義(広島大学大学院教育学研究科)

113教室 (2B3) 9:30~10:40 座長: 松本伸示 (兵庫教育大学)

- 2B3-1 子どもの科学的思考力を高める理科授業デザインの視点
—認知的・社会情動的スキルを組み込んだ理科学習モデルの検討—
○石川正明(国士舘大学大学院, 横浜市立吉原小学校), 小野瀬倫也
(国士舘大学文学部), 佐藤寛之(山梨大学大学院総合研究部)
- 2B3-2 ドイツにおけるコンピテンシー指向の科学授業構成に関する一考察
遠藤優介(筑波大学人間系)
- 2B3-3 学習者の「理科学習の意義の認識」に関する研究の成果と課題
—国内の研究動向を中心として—
○西内 舞(日本体育大学大学院), 川崎弘作(岡山大学大学院教育学研究科)

114教室 (2D1) 9:30~10:40 座長：大鹿聖公 (愛知教育大学)

2D1-1 中学生の科学的な説明における既習内容の活用に関する一考察
－ヒントカード提示後の思考に着目して－

○堀田晃毅(広島大学大学院), 松浦拓也(広島大学大学院教育学研究科)

2D1-2 理科の実験計画における思考

○田村智哉(広島大学大学院), 松浦拓也(広島大学大学院教育学研究科)

210教室 (2C1) 9:30~10:40 座長：日高正博 (宮崎大学)

2C1-1 高等学校「体育理論」領域における授業作成の試みに関する研究
－「スポーツと経済」単元に着目して－

○藤村繰美(福山平成大学大学院), 松田 広(福山平成大学福祉健康学部)

2C1-2 高校体育における競走相手との駆け引きを主題化した長距離走授業の
成果と課題：態度に関する質問紙調査と SCAT を用いたインタビュー調査から

○松本祐介(広島大学大学院), 齊藤一彦(広島大学)

2C1-3 学校数学における代数的構造の学習過程に関する一考察 ー数の拡張に焦点を当ててー
栗原和弘(常盤大学)

211教室 (2C2) 9:30~10:40 座長：大谷洋貴 (日本女子大学)

2C2-1 理科の実験場面における結果の不適切な扱いに関する大学生の認識

○山根悠平(日本体育大学大学院), 雲財 寛・稲田結美・角屋重樹
(日本体育大学)

2C2-2 教職大学院における理科教育の高度化 ー上級 CST 養成とカリキュラムの開発ー

○楠瀬弘哲(高知大学大学院), 蒲生啓司(高知大学教育学部)

2C2-3 中学校音楽科における「作曲者」の視点による楽曲の理解

ー創作と鑑賞の学習にみる生徒の音楽思考ー

○渡辺景子(北海道教育大学附属札幌中学校), 小林美貴子・寺田貴雄
(北海道教育大学札幌校)

212教室 (2E1) 9:30~10:40 座長：間瀬茂夫 (広島大学)

2E1-1 Developing a Test to Measure the Critical Thinking Skills of Environmental Education for
Secondary Level Students

○Uddin Mohammed Rashel (Graduate School for IDEC, Hiroshima University),
Kinya Shimizu (Hiroshima University)

2E1-2 経験から学ぶ国語科教師における教科内容観の変容がもたらす意義

ー国際バカロレア教育実践に関わる教師の事例よりー

丸山範高(和歌山大学)

2E1-3 EDU-Port ニッポン・日本型教育の海外展開事業に関する考察

ーベトナムでの小学校理科・生活科分野の研修に着目してー

○仲井勝巳（豊中市立桜井谷東小学校），仲矢史雄・片桐昌直(大阪教育大学)

213教室（2E2） 9:30～10:40

座長：三橋さゆり（埼玉大学）

2E2-1 体育教師における教職アイデンティティの形成過程に関する事例研究

：初任期に経験する体育授業による影響に焦点を当てて

○辻 亮太・白石 愛（広島大学大学院），岩田昌太郎（広島大学大学院
教育学研究科）

2E2-2 体育科教員養成課程学生の模擬授業のリフレクションに表出する「授業における
知識」の特徴に関する事例研究

濱本想子（広島大学大学院教育学研究科）

2E2-3 歌唱活動中における個別の歌声の変化

水崎 誠（東京学芸大学）

10月14日(月・祝) 一般研究発表4

111教室 (2B4) 10:50~12:00

座長: 稲田結美 (日本体育大学)

2B4-1 理科教育における実験値の取り扱いについての学生の認識

ー統計的探究を視点とした基礎的調査ー

○大谷洋貴 (日本女子大学), 五十嵐敏文 (日本女子大学)

2B4-2 大学生は進化をどのように認識しているのか

○永田さくら (広島大学大学院), 松浦拓也 (広島大学大学院教育学研究科)

2B4-3 小学校第5学年理科授業において考察する力が高まった学習者とそうでない

学習者の会話の違いに関する事例的研究 ー仮説を立てる際の会話を事例にー

○林 康成 (長野市立南部小学校), 三崎 隆 (信州大学 学術研究院)

112教室 (2B5) 10:50~12:00

座長: 清水欽也 (広島大学)

2B5-1 アメリカにおける幼児期から低学年段階の探究型学習についての研究

西野雄一郎 (愛知教育大学)

2B5-2 中学校理科において思考スキルを用いた科学的思考力育成の検討

ー「恐竜の復元」を対象とした単元開発とその評価からー

○田村響太郎 (静岡大学大学院), 石上靖芳 (静岡大学大学院教育学研究科)

2B5-3 小学校理科におけるAR教材を用いた授業開発に関する研究

ー単元「電流のはたらき」における科学的概念理解を目指してー

○岩崎泰博 (広島大学大学院), 木下博義 (広島大学大学院教育学研究科)

113教室 (2B6) 10:50~12:00

座長: 丸山真司 (愛知県立大学)

2B6-1 体育と英語の教科横断的授業モデルの開発

ーバスケットボールの授業実践例を中心にー

○伊藤耕作 (宇部工業高等専門学校), 二五義博 (海上保安大学校)

2B6-2 ペース変化に対応して走る「持久走」の授業

ー主観的運動強度に基づくペース設定の実践からー

○阿部直紀 (広島大学附属福山中・高等学校), 岩田昌太郎 (広島大学大学院教育学研究科)

2B6-3 「アクティブ・ラーニング」によるマット運動の学習プログラムの有効性

ー小学校第3学年を対象としてー

○日高正博 (宮崎大学), 山崎 努 (宮崎市立大塚小学校), 後藤幸弘 (兵庫教育大学 名誉教授), 長田天馬 (宇佐市立高家小学校), 八塚真明 (都農町立都農中学校)

114教室 (2B7) 10:50~12:00 座長：小林美貴子（北海道教育大学札幌校）

2B7-1 身近にある素材を用いた音楽づくりの教育的効果に関する検討

－保育者を目指す学生を対象に－

三橋さゆり（埼玉大学）

2B7-2 中学校音楽科鑑賞領域における生徒の価値評価活動を促進する指導方法研究

－プラグマティズムの諸学説にもとづいた授業実践を通して－

齋藤紘希（広島大学附属三原中学校）

210教室 (2C3) 10:50~12:00 座長：松井孝彦（愛知教育大学）

2C3-1 CEFR-J から見た高等学校の改訂版検定教科書の語彙の実態 (3)

八島 等（広島文教大学）

2C3-2 リスニング・写真描写問題におけるポーズ挿入の効果

井上英俊（明石工業高等専門学校）

211教室 (2C4) 10:50~12:00 座長：磯部征尊（愛知教育大学）

2C4-1 18歳選挙権時代の経済教育プログラム開発

－概要と開発事例「リバタリアン・パターナリズム」－

○猪瀬武則（日本体育大学）、服部一秀（山梨大学）、栗原 久（東洋大学）、
宮原 悟（名古屋女子大学）、高橋桂子（実践女子大学）、山根栄次（三重大学）、
小貫 篤（筑波大学附属駒場中高等学校）

2C4-2 高大接続から捉える中国の物理教育の現状

－理系進学する物理非専攻学生における教育内容の対応－

○孫 以天（愛知教育大学大学院）、平野俊英（愛知教育大学）

2C4-3 教員養成課程におけるSTEM教育を指向する科学技術教育のカリキュラム研究

○蒲生啓司（高知大学教育学部）、道法浩孝（高知大学教育学部）

212教室 (2E3) 10:50~12:00 座長：加藤圭司（横浜国立大学）

2E3-1 小学校児童が有する金属概念の認識に関する研究 ー質問紙の分析を通してー

○内海志典（岐阜大学）、佐藤秀行・藤井祐矢（岐阜大学教育学部附属小学校）

2E3-2 学習観と理科の動機づけに関する一考察

○大森一磨（広島大学大学院）、松浦拓也（広島大学大学院教育学研究科）

2E3-3 『日本教科教育学会誌』における研究の動向 ー計量テキスト分析を用いてー

雲財 寛（日本体育大学）

【ポスター発表】

10月14日（月・祝） ポスター発表

ポスター会場（204・205・208・209教室） 10:50～11:30

- 2PA-1 自閉症児の情緒及び知性的問題を改善する方法
近藤和美（能力開発研究所）
- 2PB-1 「やり取り」の言語活動の実践と生徒の振り返りに関する検討
○花木 柁哉（一宮市立丹陽中学校），渡辺芳朗（愛知教育大学大学院）
- 2PB-2 科目の好みと科目の違いが学習方略および学習観に及ぼす影響
崎濱秀行（阪南大学）
- 2PB-3 特別の教科「道徳」の授業実践による考察 ―小学2年生に着目して―
仲井勝巳（豊中市立桜井谷東小学校）
- 2PB-4 中学校の現代的なリズムのダンスにおける『学び合い』の効果に関する研究
○柿手祝彦（広島大学附属東雲中学校），岩田昌太郎（広島大学大学院教育学研究科），
白石 愛（広島大学附属東雲中学校）
- 2PB-5 小学校高学年児童におけるスポーツの認識
―スポーツを苦手と感じる児童への指導の手立ての一助として―
平野 真（秋田市立旭北小学校）
- 2PB-6 河川教育（豪雨災害予防）におけるカリキュラム・マネジメントの効果
○藤江浩子（福山市立引野小学校），駒田真哉（関西福祉大学大学院），
金沢 緑（関西福祉大学）
- 2PB-7 中学校家庭科家族関係におけるINSモデルを用いた問題解決学習の開発と評価
○村田晋太郎（兵庫教育大学大学院），永田智子（兵庫教育大学大学院学校教育研究科）
- 2PC-1 ESD(持続発展教育)を視点とした高等学校家庭科衣生活領域の教育内容開発
―衣服の通気性と快適な衣生活―
○柚山晴子（岡山大学教育学部），篠原陽子（岡山大学大学院教育学研究科）
- 2PC-2 伝統的製法による甘味料（米飴）の調製方法が物理特性および食嗜好性に及ぼす影響
～食育教材開発を目指して～
○村上陽子・鈴木ひなの（静岡大学）

- 2PC-3 高等学校におけるライフスタイルに対応した工業教育に関する研究
－「家庭基礎」と「建築計画」の教科書の分析を通して－
○時谷昌秀（千葉工業大学），内海志典（岐阜大学）
- 2PC-4 生徒の「資質・能力」の育成に向けた体育理論と体育実技の融合させた体育授業の試み
～中学生を事例として～
○山木彩加（広島大学附属三原中学校），岩田昌太郎（広島大学大学院教育学研究科）
- 2PC-5 保健体育科における体育理論の実態に関する研究
－大学生を対象とした学習者の質問紙調査から－
○香西庸希（川崎医療福祉大学大学院），中川 麻衣子（川崎医療福祉大学）
- 2PE-1 スリランカにおける学校体育の現状と課題 －教育資料の整理と現地調査から－
○大城穂乃香（広島大学大学院），岩田昌太郎（広島大学大学院教育学研究科）
- 2PE-2 海外教育者が日本の体育授業研究の観察から何を学ぶのか
：SCAT と TEM 図の分析方法を適用して
○敖敦其其格・辻 亮太・大城穂乃香（広島大学大学院）
- 2PE-3 数学的モデル化研究における言語学的アプローチの可能性
石川雅章（広島大学大学院）
- 2PE-4 2つの音楽教育関係誌にみられるアメリカ合衆国の音楽科成立期の動向
－当時の音楽教育関係誌を比較して－
山辺未希（広島大学大学院）